



2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 遠山 堯郎
幹事: 天野 正明
会報委員長: 稲垣 豊
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760nagoya@mizuhore.jp
URL: http://www.mizuhore.jp/

故 大和哲郎さんを偲ぶ



去る5月2日(水)午後10時50分、当クラブ会員大和哲郎君が、肝臓ガンのためご逝去されました。会員の皆様にとって誠に残念なことと存じます。

ここに名古屋瑞穂ロータリークラブ会員遠山堯郎会長・本多清治さん・松井善則さんの弔辞を掲載し、亡き大和哲郎君を偲ぶことにします。

謹んで御冥福をお祈りします。

平成19年6月21日

追悼文

2006~2007年度 会長 遠山堯郎

大和哲郎さんの思いがけない訃報に接し真に痛恨哀惜に堪えませんでした。今年3月1日の午後に、名古屋市立大学へお見舞いに行きました時、ご本人は「なんとか7月から例会に出席したい」と申されて嬉しく思っていました。その後、容体が大分お悪いとは聞いていましたが、ひたすらご快方に向かわれるようお祈りいたしておりました。しかし残念ながら、5月2日、病魔は大和哲郎さんを黄泉の国へと連れ去りました。生者必滅会者定離とはいえ真に無常限りない淋しさを覚えずにはおれません。天寿とは申せ、あまりにも若過ぎました。62歳と4ヶ月強の若い命、ただただ残念でなりません。

瑞穂ロータリークラブへの入会は1975年(昭和60年)12月9日でした。瑞穂ロータリークラブでは90~91年に親睦委員長、94~95年に会場委員長、96~97年は本多清治クラブ会長の幹事として、00~01年はローターアクト委員長、01~02年はクラブ奉仕委員長、02~03年は新世代委員長、03~04年は職業奉仕委員長として、私たちのクラブに大きな足跡を残されました。国際ロータリー第2760地区では98~99年は分区代理副幹事、02~03年には第11回ライラセミナー実行委員長として、新世代の大きな行事をサンパレア瀬戸にて見事な仕上げをされました。この実績がいまも地区のライラ実行委員会に継承され、今年の3月には第15回目のライラセミナーが終わりました。

名古屋瑞穂ロータリークラブは創立30周年が迫っています。会員の誰もがクラブを超えて、将来はさまざまな活躍を大和さんに期待していたことは間違いないと思います。

仕事に関しては、孫子の兵法「彼を知り己を知らば、百戦殆うからず」で、つばめグループの社長として6年間頑張られました。つばめグループ会長になられてからも、その経営方針は変わりなく、現場がどうなっているか、机上論で仕事をする人ではありませんでした。見習うところが多くありました。大和哲郎さんの「よっしゃ、わかった、そうしょ!」の言葉が懐かしくなりません。瑞穂ロータリークラブにとっても社会にとっても貴重な人間財産をなくし残念でなりません。

最後に不眠不休の看護をつくされ一心にご回復を祈っておられた奥様をはじめご遺族の皆様にお慰めの言葉を申しあげ、大和哲郎さんのご冥福をお祈りします。大和哲郎さん安らかに眠り下さい。



▲ 2000年 創立20周年記念式典

弔 辞

友人代表 本多清治

謹んで大和哲郎さんのご逝去を悼み数多くの友人を代表してお別れのご挨拶申し上げます。

ご遺族の皆様には手厚いご看護の甲斐もなくご逝去、さぞ無念のことと深くお察し申し上げます。

やまちゃん、君とは30代の後半名古屋青年会議所で出会ってから今日まで約30年の間、旅行にゴルフに又、色々なところで実の兄弟のように行動を共にしました。

特に1996年7月から97年6月の1年間名古屋瑞穂ロータリークラブで私が会長、君が幹事としてクラブ運営に携わった時の思い出が今でも鮮明に思い出されます。その年度のロータリーの国際大会はイギリスで開かれ、共に夫婦で出かけましたが、君はロンドンのことなら僕に任せてくれと言いオプションツアーの企画を立ててくれました。

早朝ゴルフに行く際ホテルにマイクロバスが迎えにくるものと思っていたら、黒塗りの運転手付きベンツのそれもリムジンが3台も来ました。そしてその日1日中そのリムジンでゴルフに市内見物、その日の夜は地元の人でも仲々チケットがとれないミュージカル「オペラ座の怪人」の1等席に全員を連れて行ってくれました。オーケストラピットのすぐ後ろの席で生のオーケストラが演奏する観劇は全員が初めての経験で最後には頭の上にシャンデリアが落ちてきて、これまたビックリしましたね。

ゴルフ好きの私達は、この機会にゴルフの聖地セントアンドリュースに出かけプレイは出来なかったのですが、1番ホールでゴルフの聖地の風景を目に焼き付け、絶対にこの地に再び来て、プレーをしようと誓い合いました。翌年この望がかなえられ再びこの地を訪れプレーができました。有名なオールドコース17番ホールでの、出来事はオフレコにしておきます。

ゴルフのことではもう一つ、君は毎年12月31日に家族ゴルフ会を企画し、皆さんに大変感謝されていました。君も奥さん、そして近年では二人の息子さんも同伴して、楽しくプレーしていました。その意志を継いで今年から私が企画を担当し、奥様、二人の息子さんも必ず参加していただこうと思っております。

3月の中頃、君をお見舞いした時、時間のたつのも忘れて話込みました。毎年7月に開催される大相撲名古屋場所の話になった時、八事の仏地院に滞在する、花籠部屋のチャンコを、今年も又食べに行けるといいなと言いましたね。自分の次男と同一年の光龍が、初場所に十両に昇進したので、衛星テレビで応援するのが楽しみだと話していましたね。

もうすぐ7月になるから、幕内になった光龍の晴れ姿を私と一緒に見に行こうと、約束をしましたが、こんなに早く彼岸に行ってしまうとその思いがかなわなくて本当に残念です。

5月3日に君の訃報を聞いてから、今日まで毎日毎晩、君のことばかり考えていました。いろいろな思い出をたくさん残してくれた「やまちゃん」、これから時間はたっぷりあるから、ゴルフの練習をしっかりと、セントアンドリュースオールドコース17番を、2オン2パットのスコアで、終了するよう練習に励んでください。

大勢の友人にたくさんの、思い出を残してくれたヤマチャン

天上界から風になって、私達を見守ってください。

やまちゃんさようなら



▲ 1997年 RI国際大会 イギリス・グラスゴーにて



▲ 1997年 親睦例会

追悼文

2002~2003年度地区ライラ委員長 松井善則

故大和哲郎君の御冥福を祈り感謝の気持ちを込めて追悼の辞を捧げます。

想えば2003年5月17、18日に開催された第2760地区のライラセミナーのホスト役を当クラブが引き受けることになり当該年度の新世代委員長の大和君にライラセミナーの実行委員長をお願い致しました。

貴兄はクラブ計画書の活動計画に「新世代に対しての理解を深めるためライラセミナーのホスト役を成功に導くこと」と決心して頂きました。

しかし2002年度中に5割くらいの計画をして貰えると思っていた所一向に動いてもらえず、私は内心びくびくしておりました。

ところが2003年になるや否や早速委員会をまとめ猪突猛進の如く委員会一丸となり突き進んで頂きました。その時の私の気持ちは嬉しくてとても言葉では云い表せなうた感謝、感謝でありました。

いよいよセミナーに突入しました。本当に素晴らしいリーダーシップを発揮され、私のためにフォローをして頂き、岡部ガバナー以下出席されたロータリアンにたくさんのお褒めの言葉を頂きましたことは一重に貴兄のリーダーシップの賜物でありました。本当にありがとうございました。

葬儀の日に貴兄をお見送りする時どうしてこんなことになったのかと赤いユニフォーム姿の貴兄が私の脳裏に浮かんで来ました。心の中で「本当にありがとう」とお礼を云いました。

セミナーのことを想うと貴兄は急ぎすぎました。一年をかけてゆっくり準備をして頂ければ・・・

こんなに急がなくてもよかったのに・・・

まだまだこのクラブで大活躍をして欲しい人だったのに・・・

無常感で一杯です。ご苦労さまでした。

どうぞ安らかにゆっくりとお休み下さい。



▲ 葬儀風景

大和 美和子様

突然ご主人様哲郎氏ご逝去の訃報に接し、私どもは大変驚き、悲しく思っております。氏の生前のお姿及びロータリアンとしてのご貢献を偲びながら心より氏のご冥福をお祈り致します。ご家族の皆様はさぞかしご無念のごことでございましょうとお察しはしておりますがくれぐれもお体に十分お気を付けて下さいますようお願い申し上げます。

台北延平扶輪社 社長 黄鴻源 及び 会員全体一同